

1. 基礎情報

自治体名	神奈川県綾瀬市	
部署名	市民環境部市民活動推進課	
電話番号	0467-70-5657	
メールアドレス (※は@に変換してください)	wm.705657	※ city.ayase.lg.jp
ホームページ	https://www.city.ayase.kanagawa.jp/index.html	



多言語での意思疎通を可能にする多言語音声翻訳システム

在留外国人数	令和3年2月現在	4,197	人	住民基本台帳人口に占める割合	4.9	%
うち、在留資格別上位3種類の人数及び在留資格名	1位 (永住者)	1,931	人	2位 (定住者)	474	人
				3位 (技術・人文知識・国際業務)	407	人
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ベトナム)	1,037	人	2位 (スリランカ)	704	人
				3位 (ブラジル)	607	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	多言語音声翻訳システムを活用し、市役所窓口や学校教育現場での言葉の壁を低減している。	
具体的な取組内容	<p>市役所の総合案内及び主要な窓口課等に自治体専門用語に対応した多言語音声翻訳システムアプリをインストールしたタブレット端末を配備し、窓口対応等における言葉の壁を低減している。また、本アプリは学校教育用語にも対応しているため、別途、教育委員会において、小中学校にも配備し運用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月から「自治体向け音声翻訳システムに関する研究開発」(国立研究開発法人情報通信研究機構の委託事業。受託者は凸版印刷株式会社。)の実証利用を開始(自治体窓口では全国初) 令和元年4月から上記実証利用等を経て製品化された「VoiceBiz」を本格導入(市役所総合案内及び窓口課で計7端末を運用) 小中学校については、令和元年度に国際教室設置校(5校)に試験導入し、令和3年度にすべての小中学校(15校)に本格導入予定 	

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	日本語教育の推進	
取組のポイント	日本語ボランティア教室への支援と連携により、日本語学習環境の向上に取り組んでいる。	
具体的な取組内容	<p>外国人市民の自立と活躍を促進するために、最大の課題である言葉の壁の解消に向けて、日本語ボランティア教室への支援と連携により、市内における日本語学習環境の向上に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> 日本語ボランティア団体への財政支援を目的に、1団体につき年間10万円を限度に事業費を助成(助成率1/2、新設団体のみ初年度は2/3) 会場の提供 <ul style="list-style-type: none"> 活動場所として市内公共施設を希望する団体には、市が会場を確保し提供(条件あり) 日本語学習教材の提供 <ul style="list-style-type: none"> 段階的で効果的な学習支援を目的に、1団体につき年間1万円以内の日本語学習教材を提供 講師養成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 日本語ボランティア講師の確保及び、既存講師のスキルアップを目的に、講師養成講座を実施 日本語教室横連携会議の実施 <ul style="list-style-type: none"> 各教室が抱える課題のほか、独自の強みやノウハウを相互に共有し、良質な学びの場を安定的に提供することを目的に、関係者が一堂に会する横連携会議を実施 	